

組合事務所を古民家に移転

桐生ものづくり(協)

4月3日、組合事務所を移転。移転先は、桐生市内の重伝建地区と呼ばれる古い街並みを保存・活用しているエリアにある古民家。梁や柱はそのまま活用し、懐かしさを感じられる家具などの調度品もインテリアとして一部で再利用している。



江戸時代の店蔵をリノベーション

事務所内の一角には、組合員の繊維製品を展示。古民家と繊維製品との親和性が高く、道に面した大きな窓から、それら展示品がよく見えるため、興味をもった通りがかりの人が、事務所内に立ち寄ることもあるとのこと。将来的には、展示スペースとしての活用も視野に入れている。

商店街で小学校新1年生を祝う

桐生市末広町商店街(振)

4月9日、組合では小学校の新入学生を祝うイベント「すえひろでレッドカーペットを歩こう」を開催。ピカピカのランドセルを背負った23名の新1年生がまちなかに広げられたレッドカーペットを元気に歩いた。

新1年生には、組合からお祝いとして500円の図書カードをプレゼント、見守る子供達にもお菓子を配り、地域の子供達の成長を祝った。

また、桐生警察署交通課の協力のもと交通安全教室を開催し、子供達に人気のローカルヒーロー超速戦士G-FIVEとともに安全な通学に向けた交通ルールを学んだ。



真新しいランドセルを背負い参加した子供達

春の「上州どっと楽市」を開催

高崎卸商社街(協)

4月22日、23日の2日間、高崎市・ビエント高崎ビッグキューブと問屋町公園において、「上州どっと楽市」を開催した。毎年春と秋に開催する一般消費者向けの大販売会で、32回目となる今回は80店舗が参加。2日間で1万人以上が来場し賑わいを見せた。

会場では食品や服飾、工具、雑貨などバラエティに富んだ数多くの商品がサービス価格で売り出され、来場者は掘り出し物を探すような気分でショッピングを堪能した。屋外には10台以上のキッチンカーが集結し、軽食を楽しむ来場者の姿も見られた。



会場は大勢の来場者であふれた

屋外のステージではバンド演奏など様々な催し物が行われた

